

VDR 消費者情報

特集：「在宅勤務時の行動変化②」

- < 調査の概要 >
- 調査方法：インターネット調査
 - 調査期間：2020年4月14日～15日
 - 調査対象：一都三県、男女20～49歳
職業は会社員のみ
 - 調査数：633s

	計	20代	30代	40代
男性	383	117	139	127
女性	250	83	92	75
計	633	200	231	202(s)

令和2年5月1日発行（第43号）
 発行者：坂上真介 編集：西野達也
 東京都品川区西五反田8-3-16
 西五反田8丁目ビル4F
 株式会社市場開発研究所
 連絡先：Tel：03-5436-6222
 Fax：03-5436-6232

● 前回のおさらいと今回の分析について

まず、前回発行の情報誌の分析結果を簡単におさらいします。前回発行の情報誌では、在宅勤務実施率、在宅勤務実施によるストレス度、在宅勤務時の行動変化の3点について、全体の傾向をおおまかに説明していきました。そこで見てきた在宅勤務中の行動変化の傾向としては、「テレビの視聴」や「家で食事にかかる時間」等、自宅で過ごす時間が増えたことが直接影響する項目が増加したと、人と接することが少なくなったこと等が要因で『身だしなみ』に時間をかける方が減少したことです。

それらを踏まえ、より詳細な分析結果を皆様にお届けするため、本情報誌では『情報接触』と『その他行動』の2カテゴリーについて、“同居家族別”に在宅勤務中の行動変化の違いを分析しました。皆様もご自身の現状と照らし合わせながらご覧いただくと、本調査結果をより身近に感じていただけるのではないかと思います。

●【再掲】在宅勤務中の行動変化_『情報接触』、『その他行動』の2カテゴリーTOP3

- 在宅勤務中の行動変化 <全体>

※各カテゴリーごとに降順ソート
 ※上位3項目のみ抜粋

	情報接触	増加率
1位	テレビの視聴時間	54.3%
2位	動画サービスの視聴時間	49.5%
3位	SNSの閲覧時間	45.1%

	情報接触	減少率
1位	新聞の閲読時間	11.0%
2位	雑誌の閲読時間	10.3%
3位	ラジオの視聴時間	8.5%

	その他行動	増加率
1位	同居家族との会話*1	61.5%
2位	睡眠時間	50.0%
3位	喫煙の本数	39.5%

	その他行動	減少率
1位	同居していない家族や友人知人との会話	20.0%
2位	音楽を聴く時間	13.1%
3位	喫煙の本数	11.6%

*1:同居家族がいる方に聴取

さて、“同居家族別”に上記2カテゴリーを分析すると、在宅勤務中の行動変化にどのような違いが見られるのでしょうか？

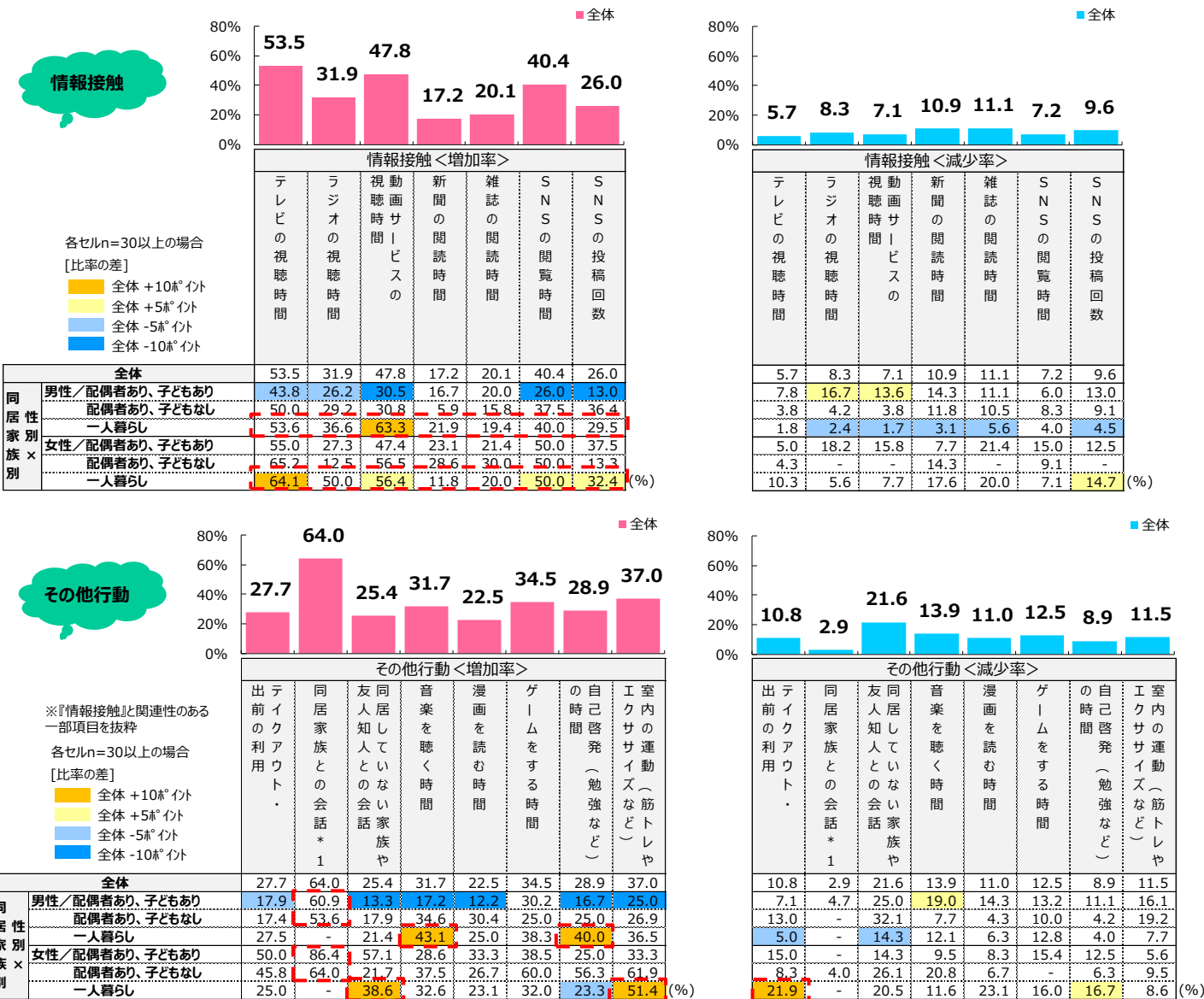
皆様もどのような違いが見られるか、ご想像ください！！

『情報接触』、『その他行動』ともに配偶者の有無で違いが見られました！！

■ あなたの在宅勤務中の行動についてお知らせください。(それぞれひとつずつ)

- それでは、“同居家族別”に『情報接触』と『その他行動』の在宅勤務中の行動変化について確認していきましょう。
- まず、全体的な傾向として『情報接触』、『その他行動』ともに配偶者の有無で行動の変化に違いが見られました。一人暮らし世帯は、男女ともに「テレビ」、「動画サービス」等の視聴時間の増加率が配偶者あり世帯を上回ります。一人暮らし世帯は、自宅に同居家族がない分、一人で時間を費やせる媒体を活用していることが伺えます。一方で、配偶者あり世帯は「同居家族との会話」がいずれの属性でも増加した行動になります。本調査結果からも在宅勤務中は、一人暮らし世帯は一人で、配偶者あり世帯は同居家族とより時間を過ごすことが伺えます。
- 続いて、一人暮らし世帯に焦点を当てて見ていきます。男性は「動画サービスの視聴時間」、「音楽を聴く時間」、「自己啓発の時間」、女性は「同居していない家族や友人知人との会話」、「室内の運動」が増加しています。男性においては、一人でも楽しめるコンテンツに時間を費やす傾向が見られます。一方で、女性と比べて「同居していない家族や友人知人との会話」の増加率が低く、このような事態で周囲とのコミュニケーションがあまり取れていない点が気になります。女性においては、今後「室内の運動」後に使用できる制汗剤や汗拭きシート、運動時に着用できるウェア等の商品の需要がより高まっていくのではないかと推察しています。また、「テイクアウト・出前の利用」の減少率が高くなります。女性は自炊をする人が増えているのでしょうか。こちらに関しては、次回明らかにしていきます。

■ 在宅勤務中の行動変化<性別×同居家族別> ※在宅勤務実施者かつ各行動を普段から行っている方ベース



*1:同居家族がいる方に聴取

次回のお知らせ

本情報誌では、“同居家族別”に『情報接触』と『その他行動』の在宅勤務中の行動変化を見ていきました。皆様いかがでしたでしょうか？
 次回は、『家事全般』と『食事』について在宅勤務中の行動変化を分析していきます。どうぞご期待ください！！

(営業企画部 / 西野 nishino@m-dr-j.co.jp)